

事務事業名		議会だより発行事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	6 -				担当組織	担当部	議会事務局	担当課	議事課
	政策	1 政策体系外				担当係	議事調査係	担当課長名	高橋幸男	
	施策	1 議会活動支援の充実				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 -				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	25	一般	1	1	1	市単独事業・国県補助事業 任意の事業・義務の事業 実施方法 事業分類				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H17年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市議会広報紙発行規定		市単独事業 任意の事業 直営 広報・広聴・啓発事業 該当なし 該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
市議会だより(定例会号)を各定例会後に発行し、町会を通じ市内全世帯に配布し、議会ホームページにも掲載する。 新年号(1月1日号)は、内容が議員の挨拶等のため、議会ホームページのみに掲載する。		市議会だより(定例会号)を各定例会後に発行し、町会を通じ市内全世帯に配布し、議会ホームページにも掲載した。 新年号(1月1日号)は、内容が議員の挨拶等のため、議会ホームページのみに掲載した。 議案、請願、陳情等について議員個人ごとの賛否を掲載した。					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
発行部数		部	45,200	45,500	45,800	45,800	45,800
発行回数		回	5	4	4	4	5

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	議会の活動を知っていただき、議会に関心を持っていただく。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
		議会ホームページ閲覧件数	件	16,410	13,210	16,659	17,000	17,400

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

市民に信頼され、開かれた議会となる。 議決機関としての権能が十分発揮できるようになる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	議会傍聴者数	人	282	327	483	500	550
	議員提案及び決議・意見書提出件数	件	6	4	2	4	4

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	1,916	2,167	2,287	3,265				
	事業費計(A)	千円	1,916	2,167	2,287	3,265	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			印刷製本費	1,850	印刷製本費	2,167	印刷製本費	2,287	印刷製本費	3,265
			業務委託料	66						
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3				
	のべ業務時間	時間	480	480	480	480				
	人件費計(B)	千円	1,868	1,892	1,869	1,869	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,784	4,059	4,156	5,134	0			

事務事業名	議会だより発行事業	担当部	議会事務局	担当課	議事課	担当係	議事調査係
-------	-----------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

## (3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧佐野市、旧田沼町、旧葛生町の議会で、それぞれ実施していたが、平成17年に1市2町で合併し、新佐野市議会となってから現在の形で実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地方分権が本格化する中で、地方議会改革も機能強化に関する数次の地方自治法改正を経て、各地方議会で自主的な取組が散見される。近年は、市民に開かれた議会(見える議会)を目指した議会情報の公開や議会基本条例制定の動きが拡がりを見せている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	文字を大きくしたことにより、以前より読みやすくなった。(議員) 予算上の制約もあるが、一般質問等の内容も、できるだけ多く掲載してはどうか。(議員)

## (4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	賛否が分かれた議案等の欄を新たに作成し、議員個人ごとの表決を掲載し議会の公開度を向上させた。発行の翌月に開催される次の定例会の日程を掲載し傍聴者の増を図った。 新庁舎7階議会関連フロアのカラー写真を掲載し傍聴者の増を図った。

## 2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	政策体系外施策	理由・改善案	
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	議会の活動を市民に知らせることは、市の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民に議会の活動を知っていただくものであり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	現在、本市議会では平成25年11月から議会活性化検討委員会を設置し、議会改革を進めている。改革事項は多岐にわたるため、それに合わせて議会だよりの内容も見直す予定である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
	*類似事務事業があれば、名称を記入	類似事務事業名		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、条件付一般競争入札により単価契約を行っており、必要なページ数で作成しているため削減する余地はない。 また、人件費についても必要最小限で効率的な作業を進めているため削減する余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	受益者は全市民であるため、受益者負担を求める必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			佐野市議会が解散すれば事業終了となる。

## 3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) イラストや写真を効果的に配し、より親しみやすい内容とする。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	編集するのは常任委員会委員長で構成する編集委員会であるため、事務局案を事前に提示するなどして、委員との協議、調整を行う必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					